

「でんきと私」

長森 太陽

電気の発明は、暗やみに明かりをともしました。電気は人々の生活を豊かにしたり、未来を変える力があります。電気が通っていない地域に住んでいるアフリカの子どもたちが、ランドセルにソーラーパネルをつけて通学中に充電します。そして夜には充電した電気を使って勉強しています。電気は未来の活力です。僕は何不自由なく電気を使っていることに感謝するとともに、将来は科学者になり、世界の人々が電気を使え、くらしを豊かにしたいです。

現在、世界の発電のためのエネルギー資源として、ウランによる原子力、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料による火力が大部分を占めています。しかし、原子力は安全面に、火力は環境面に問題があります。そこで、僕は地球にやさしい自然エネルギーをもっと増やしたいと思います。多くの国が協力して宇

宙ステーションを作ったように、宇宙にソー  
ラーパネルステーションを作りたいと考えて  
います。宇宙には夜もなく、天気にも影郷音さ  
れずに太陽のエネルギーを利用できます。ま  
た、宇宙には国境がないため、そこでつくら  
れた電気は世界の人が使えます。その他に  
モ砂漠に太陽光発電所をつくり、電気をつく  
るとともに、電球の光で野菜も育て、食料不  
足も解消します。

これから世界の人口はもっと増え、エネルギー  
の消費量ももっと増えていきます。これ  
まで以上に電気は重要になってくると思いま  
す。僕はもっと電気の勉強をして、世界中の  
人が豊かな生活ができるように頑張りたい  
と思います。